

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

5-II-5

5-II
-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地場産業の活性化
	節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	5 佐渡特産品の高付加価値化		事業主体	佐渡市産業振興課
			関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 世界遺産ブランドを活用した地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。</p>			
	<p>【事業内容】</p> <p>○ 地場産品に世界遺産ブランドのイメージを付加することで商品価値を高めるとともに、佐渡金銀山のPRと連動した販売促進等により、地場産業の振興を図る。</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● 佐渡産農林水産物を活かした新製品等の開発支援に努め、魚の生ハム、とびうおの冷凍すりみ等を開発した。これらの商品は、佐渡市内外において佐渡産品を積極的に活用し、佐渡市が「佐渡産品提供店(サドメシラン)」※として認定する店舗を中心とした流通網で販路拡大に努めた。</p> <p>※「佐渡産品提供店(サドメシラン)」 佐渡産の農林水産物や加工品を積極的に取り扱う店舗やホテルを認定し、地場振興を図る本市事業</p>			
	<p>【課題】</p> <p>■ 世界遺産ブランドを利用し、世界遺産をテーマとした商品開発を生産者と調整する必要がある。</p>			
今後の取組・課題	<p>【今後の取組】</p> <p>■ 統一したパッケージデザイン作成のための関係者による会議を開催し、ブランドイメージの確立に向け努力する。</p>			
	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a・b (c)]</p> <p>◇ 世界遺産ブランドを利用し、世界遺産をテーマとした商品開発を生産者と調整する必要がある。</p>			
事業評価	<p>【事業実施の効果】</p> <p>[a・b (c)]</p>			
	<p>【総合評価】</p> <p>[A・B (C)]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。